

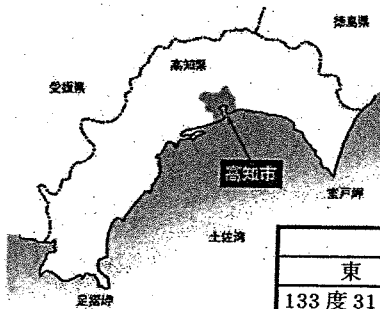
第3章 高知市の概要

1 地理

1 位置

高知市は四国南部、高知県のほぼ中央に位置しています。東経 133 度 31 分 53 秒、北緯 33 度 33 分 32 秒の位置にあり、東西に 21.49km、南北に 24.83kmの距離が市域の面積は 309.22km²となっています。市域内には、東経 133 度 33 分 33 秒、北緯 33 度 33 分 33 秒と、3 の数字が 12 個並ぶ地点が存在する珍しい都市でもあります。

なお、地球上で高知市と同程度の緯度上にある主な都市として、太平洋をはさんで北アメリカ大陸にはアメリカ合衆国アリゾナ州の州都フェニックス (33° 31' 42")、さらに大西洋を越えるとアフリカ大陸ではモロッコ最大の都市カサブランカ (33° 32' 0")、中東にはシリアの首都ダマスカス (33° 30' 47")、イラクの首都バグダット (33° 20' 0") などがあります。



経緯度		東西(水平)距離	南北(垂直)距離	面積
東経	北緯			
133 度 31 分 53 秒	33 度 33 分 32 秒	21.49km	24.83km	309.22km ²

2 自然

本市は、背後を急峻な四国山地に閉ざされ、北部の中山間地域を中心に、市域の55.6% (17,178ha) が森林となっています。西部には丘陵地が続き、平野の開けた中央部から南東部にかけて都市が、同じく平野の東部には水田地帯が広がっています。また南部は土佐湾に面し、眼前を太平洋の荒波が洗う海岸線からは雄大な太平洋を一望することができる地理的条件にあります。

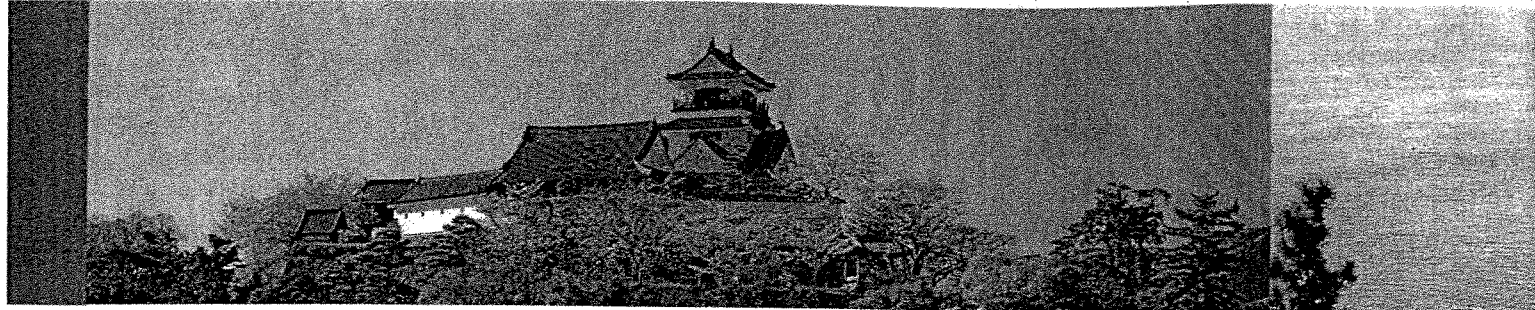
標高 1,176 m の工石山を有す北部の中山間地域は、豊かな自然環境が今も残されており、高知市のシンボルである清流鏡川の源流域は、市民の憩いとやすらぎの場ともなっています。

旧高知市域は、鏡川と東部を流れる国分川などによって形成された沖積平野となっており、東部には肥沃な美田が続いていますが、標高が低く、特に河口付近には、約 7 km にわたって海拔ゼロメートル地帯が広がっていることから、過去において幾多の水害を経験しています。

南西部に位置する春野地域は、仁淀川の堆積による低地に田園が広がり、太平洋に面した長い海岸線を擁しています。清流仁淀川から取水された水は、吾南用水を通じて広く地域に潤いを与え、基幹産業である農業を発展させてきました。

気候は、緯度が低く背後に四国の分水山地がそびえ、南方の土佐湾沖合に黒潮が流れていることから、南海道型の高温・多雨の気候を示しています。年間の平均気温は、17.7 度（平成20年、県庁所在地中4位）と年間を通じて温暖であり、月別に見ると、最も寒い1月・2月が6度台、最も暑い7月・8月では26～27度となっています。降水量は、低気圧が上陸すると同時に北方の四国山地で進路をはばまれることによる地形性の雨をもたらすことから非常に多く、晩夏から初秋にかけて来襲する台風もしばしば高知市・高知県附近に上陸するため、紀伊半島とともに日本の最多雨地域の一つであり、県庁所在地では全国第1位（平成20年 3,213mm）となっています。一方で日照時間は大変長く、全国の県庁所在地中第1位（平成20年）となっています。

降水量が多く、日照時間が長いという植物の生育に欠かせない水、光の条件に恵まれた気候のため、生物生産力が非常に高く、また、海拔 0 m～約 1200 m までの高低差があるため、冷温帯から暖温帯にかけて属する多様な植物相を有しており、不時栽培の適地として分類されています。



3 都市

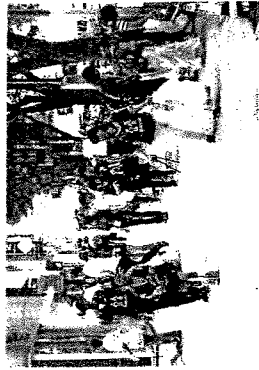
高知市は、山内一豊が慶長8年(1603)大高坂山に城を築き、城下町を形成して以来、土佐の政治、経済、文化の中心都市として発展して来ました。明治22年(1889)に市制が施行されて以後、幾度かの合併を経ながら県都として発展し、近年、平成17年1月1日にみどり豊かな森林を持つ鏡村、土佐山村と、また、平成20年1月1日に県内有数の農業生産高を誇る春野町と合併し、中山間地、田園地帯、臨海部、都市部とがバランスよく調和し、また、鏡川と仁淀川という2つの清流を有する「森里海の都市」となっています。

市域の変遷

編入年月日	編入地域	面積 (km ²)		人口	
		編入地域	累計	編入地域	累計
明治22年4月1日	市制施行	—	2.81	—	21,823
大正6年3月15日	江ノ口町	2.962	5.772	3,597	43,220
14年1月1日	旭村	10.737	16.509	7,861	62,998
14年8月1日	鴨田村の一部	0.317	16.826	2,950	65,948
15年1月25日	下知町、潮江村	12.893	29.719	13,200	78,225
昭和2年5月1日	小高坂村	0.912	30.631	4,954	87,173
10年9月1日	秦・初月村	18.66	49.291	3,349	108,869
17年6月1日	長浜町、御豊瀬・高須・一宮・浦戸・三里・五台山・布師田・朝倉・鴨田村	86.06	135.351	33,894	141,094
	(45年10月1日の国土地理院面積調を基に修正)	—	133.12	—	—
47年2月1日	大津・介良村	10	143.12	8,309	256,801
	(50年10月1日の国土地理院面積調を基に修正)	—	143.235	—	—
	(63年10月1日の)	—	144.52	—	—
63年12月1日	南国市の一部	0.159	144.68	—	—
平成9年10月13日	仁井田字新港 (公有水面埋立地造成)	0.013	144.69	—	—
10年7月17日	" (")	0.258	144.95	—	—
13年10月30日	" (")	0.02	144.97	—	—
16年2月3日	" (")	0.03	145	—	—
17年1月1日	鏡・土佐山村	119.28	264.28	2,909	330,705
20年1月1日	春野町	44.94	309.22	16,512	343,199

1. 原宿表参道憲章

- 友情と愛と元氣のある街
- 自然と環境を大切に作る街
- 芸術と文化を発信する街
- 歴史と科学をみつめる街
- 平和と未来と幸福(しあわせ)を創る街



-Green bird-

2. 活動目的

地域の生活環境の向上と商業の健全なる発展を目指すことが主たる目的です。その目的の達成手段として良い環境作りというところに重点を置いています。上記、原宿表参道憲章に掲げているように、人間が幸福になる街を創造するということが最も大切であると考え、行政レベルにただ任せるとはならず、民間レベルで活動し得ることを最優先に商店や企業、住民とが一体となって上記目的の達成のために活動してまいります。



3. 活動内容とその現状

(1) 環境整備活動

「緑と太陽と空間」「キーブグリーン、キーブグリーン」「モアグリーン、モアグリーン」「商住の快適なバランス」「健康的で安全な街」「ファッショナブルな街」等のスローガンのもとに以下のような具体的な活動をしてまいりました。

① 美化推進および美化啓蒙活動

- 年間予算の半分近くの費用を下記の美化推進活動に使っております。
- 灰皿、ゴミ箱の設置と維持管理補修及びそのゴミの回収。
- 会の有志による表参道、明治通りの定期清掃(青年部会・グリーン・バスターズチーム)による表参道・明治通り歩道・植え込み等の週3回(火曜日・金曜日・土曜日それぞれ3時間)の清掃活動。結果的に日曜日以外は毎日清掃活動を実施。
- 原宿地区美化推進委員会の活動推進、協力。
- グリーンバードプロジェクト(ボランティアの清掃活動支援組織)への支援。

② 緑化推進

- 緑や花は人間の生活に潤いと楽しさを提供してくれる重要な要素です。表参道には163本のケヤキと5本のイチヨウの木が街路樹として設置されています。これらの木は原宿のシンボルとして大切にしていきたいです。
- 歩道植え込みの整備。
- ケヤキの健康診断と応急手当。
- ケヤキ基金の設立および募金活動。
- 建設物に緑を活用する自主的活動。
- ベンチ兼用の植え込み槽(プラスチック)の設置。

③ 商業環境および居住環境の整備

- 街路修景事業への取組 平成5年から9年の5年間、表参道街路修景事業に参画費用総額の20%(3億円)を当会で負担し、現在の花崗岩網代貼りによる石畳歩道やストリートファニチュア(道路施設)(街路灯、ガードレール、電話ボックス、ゴミ箱、街路案内等)を完成させる。
- 表参道地区計画・建築条例への参画(平成14年制定)、文教地区指定の維持により遊技場や風俗営業の締め出し、表参道の環境を維持していく。
- 地元住民との原宿神宮前まちづくり協議会への積極的参画。
- 銀行店舗の路端出店の禁止。街頭放送によるキャッチセールスの締め出し。街並の維持、悪質な呼び込み、露天商の排除に効果をあげている。

(2) 催事、イベント活動

・別紙詳細記載

・(3) 広報活動

- 各マスコミ取材協力および呼びかけによるバブリシティ要請。
- 会員各位への情報提供。
- 会員相互間の紹介・交流活動(新年会・総会懇親会・忘年会・会員全体会議等)

(4) その他の活動

- 米街者動態調査、住民意識調査。
- 各関係官庁との交流。
- 他諸団体および町会との交流(原宿神宮前まちづくり協議会としての活動)。
- 明治神宮、NHKとの交流。
- 原宿表参道地区開発に対しての提言。
- 原宿の将来ビジョン研究(一部環境整備活動と重複)

4. 原宿表参道学会の組織

- 設立 昭和48年4月表参道と神宮前交差点両側の明治通り沿いを区域とする「原宿ジャンゼンゼン」(原宿表参道)として設立、昭和60年8月振興組合として法人化。平成11年9月原宿の発祥の地に位置すること、歴史的に明治神宮の表参道であること、シンボルである構(けやき)から「原宿表参道学会」と名称を変更
- 会員数 230社 加盟店 800店舗
- 部会 理事は必ずいずれかの部に所属する。

(4) 会費

- ・出金 2万円
- ・月額会費 5,000円~50,000円(団体加入または大法人は別途協議扱い)
- ・年間活動予算総額は20,000万円位。
- (5) 事務局

- ・人員は事務局長1名と女子職員1名、他状況に応じてアルバイトを使用する。

・事務局所在地

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-9-1 富永ビル地下1階2号室

電話：03-3406-4303

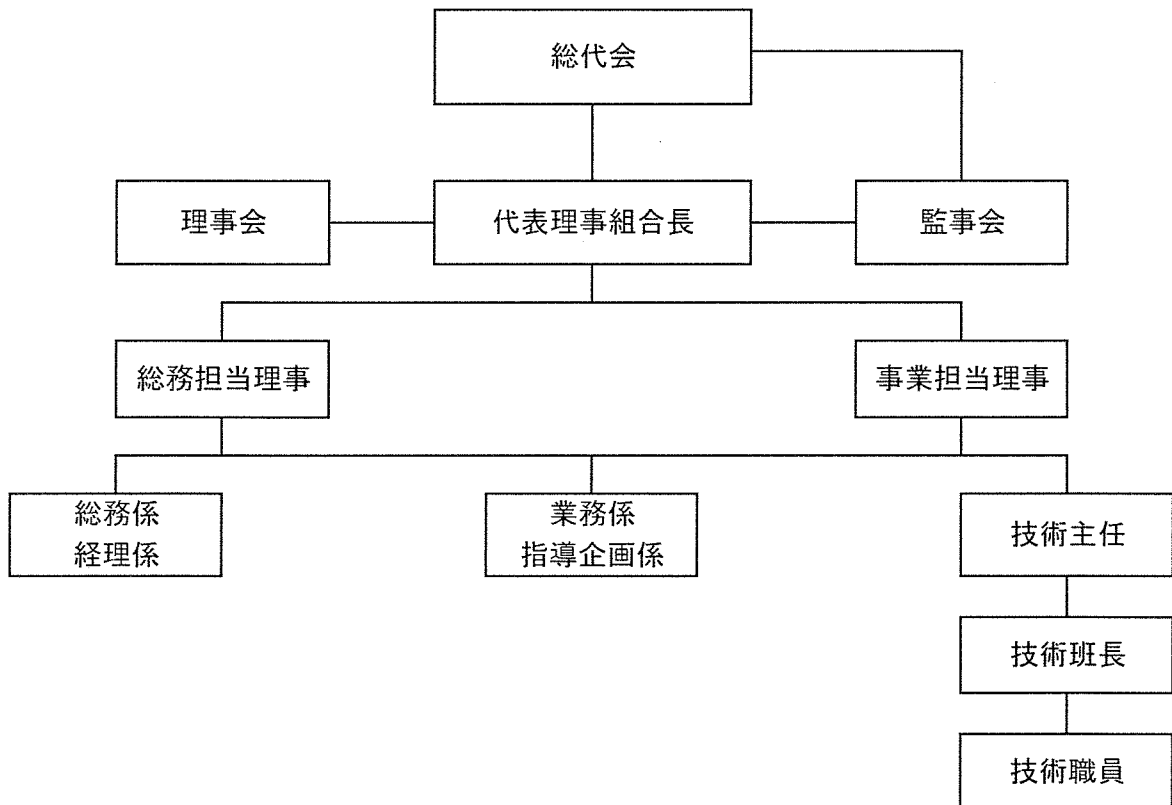
Fax: 03-3406-0955

URL <http://www.omotesando.or.jp>

E-mail keyakikai@omotesando.or.jp

高知市森林組合

【組織図】



【概要】

- ①代表者 : 代表理事組合長 高橋 英雄
- ②組合員数 : 964名(正組合員846名, 准組合員118名)
- ③出資口数 : 39,236口(正組合員37,982口, 准組合員1,254口)
- ④役員 : 8名(代表理事組合長1名, 理事4名, 監事3名)
- ⑤職員 : 11名(事務職員2名, 技術職員8名, パート事務員1名)

【連絡先等】

〒781-3102
高知県高知市鏡小浜8
高知市中山間地域構造改善センター内

Tel (088)896-2500

Fax (088)896-2506

プロジェクト事業者・参加者間の関係図

